



平成 29 年度
西山小学校
学校だより

杉

第 40 号
平成 29 年 1 月 16 日(木)
文責：菊地正人

教育目標 ～ 深い雪にも耐え 大空に向かって たましくまっすぐ伸びる 西山の杉のような子どもを育てる

みんながんばりました 「ボランティア活動」

13日(月)に全校生で「ボランティア活動」を行いました。これは、進んで学校や地域のために奉仕する心を持ち、自分たちで役割ややるべきことに気づき、自主的に責任をもって行うというねらいのもと、学年ごとに分かれて、それぞれの活動を実施しました。(1年＝保育所 2年＝支所 3・4年＝校舎内外 5・6年＝体育館) どの活動も子どもたちが張り切ってやる姿が見られ、とても清々しい光景でした。



～ 来年度から「道徳」が変わります! ～

来年度から2年間は、平成32年度から始まる新しい学習指導要領の完全実施に向けて、その移行期間となります。特に、外国語活動(英語教育関係)や道徳が大きく変わります。その中でも、道徳については、来年度から新しい内容でその学習が始まります。その概要について県教育委員会の資料により紹介します。外国語活動(英語教育関係)については、次号以降お知らせします。

「特別の教科 道徳」がいよいよ始まります。

小学校は平成30年度、中学校は平成31年度から、今までの「道徳の時間」が教科化され、「特別の教科 道徳」となり、学習の充実が図られます。大きな変更点は、次の3点です。

① 教科書が導入されます。

教科書が導入され、学習内容の充実が図られます。「その年齢ならではの」子どもたちの悩みや葛藤を取り上げたり、「情報モラル」や「人権問題」「環境問題」といった現代社会が解決すべき課題を数多く取り上げたりして、子どもたちに「生きる力」をはぐくんでいきます。

② 「考え、議論する道徳授業」の実現をめざします。

「考え、議論する授業」めざして、授業の充実が図られます。各学校において、子どもたちが、現在の自分の心を見つめ、どんな自分になりたいか、なりたい自分を思い描くことができる授業づくりをめざしています。

③ 評価が導入されます。

子どもたちの道徳の授業に対する学習の状況や道徳性の成長の様子についての評価が実施されます。この評価は、子ども一人一人を受け止めて認め、励ます意味で実施され、数値や「○、△、×」などの形では行われず、記述式で行われます。また、その評価は入試等で活用しないこととなっています。



●●● かぜ・発熱等にご注意を! ●●●

先月から『かぜ・発熱等』での欠席児童が何人か見られます。また、完治するまで日数がかかることが見られます。手洗い・うがいの励行と睡眠時間の確保、早めに医者への診察を受けるなど・・・健康管理について、引き続きよろしくお祈りします!

